

ダイナアクトレス



1983年5月4日生 牝 鹿毛
 父:ノーザンテスト
 母:モデルSPORT(母の父:モデルフル)
 千歳:社台ファーム生産
 調教師:矢野進(美浦) 馬主:(有)社台レースホース



不遇の時代を 駆け抜けた名女優

生涯に19のレースを走ったダイナアクトレス。馬名の通り女優にたとえるなら、出演作は19本ということになる。7度出演した「GI」という大作では、助演という立場で作品に格調を与えることに徹した。

1986年のオークスでは2番人気で3着。主演メジロラモーヌが牝馬三冠を目指すトリロジー(三部作)のセカンド・エピソードを、ライバル役として彩った。海外から一流俳優を招いて撮られた超大作、すなわち1987年ジャパンカップでは9番人気3着。他の日本馬が2ケタ着順に沈むなか、外から猛然と追い込んでトリプティックやムーンマッドネスといったGI馬に先着、日本を代表する名女優であることをアピールする。1988年の天皇賞(秋)が3番人気4着。タマモクロスvs.オグリキャップという競馬史に残るアクションムービーに唯一の牝馬として参加、戦うヒロインとしての役割をまっとうした。

2度走った安田記念で見せた芝居も秀逸だった。1987年は、本命馬ニッポータイオーをフレッシュボイスが直線一気の豪脚で差すことになる大どんでん返しサスペンス。ここでダイナアクトレスは4番人気5着。重く湿った芝のうえ、泥にまみれながら最後まで食い下がる熱演を披露する。翌1988年はニッポータイオーがフレッシュボイスを5着に降す復讐劇の完結編だ。ここでダイナアクトレスは、主役を1馬身差まで追い詰める激走で2番人気2着。1年の間に役者としての格と序列を上げて「大看板ニッポータイオーの相手役」に抜擢されたわけだが、その重圧を見事に見事に払いのけ、観る者の期待に応えてみせたのである。

実はダイナアクトレスは、1番人気、つまり主役として臨んだレースでも優れた役者ぶりを発揮している。新馬、すずらん賞、函館3歳ステークスのデビュー3連勝は、5馬身差、6馬身差、5馬身差という圧巻の内容だった。1987年の京王杯オータムハンデキャップでは、芝マイル戦における世界タイレコード(当時)となる1分32秒2の好タイムで優勝。1988年春には、セントシーザー、ホクトヘリオス、そしてニッポータイオーといった牡馬一線級を退けて、スプリンターズステークスと京王杯スプリングカップの重賞2連勝をマークした。1番人気では通算7戦6勝。実に信頼度の高い主演女優だ。もしもファンが彼女をGIでも1番人気に押し上げていたなら、意気を感じるタイプの女優であるダイナアクトレスは、主演としての務めを勝利という形で立派に果たしていたかもしれない。少なくとも古馬が出走可能な牝馬限定GIが当時あったなら、ダイナアクトレスは多くの主演作に恵まれ、大ヒットを連発していたはず。2年連続でJRA賞最優秀5歳以上牝馬に選出された実績を考えると、それは、間違いのない。

1987年★第32回京王杯オータムH(GIII) 当時の世界レコードに並ぶ1分32秒2という驚異的なタイムで、ダイナアクトレスが圧勝。約2年ぶりとなる勝利をあげた。

年月日	場	レース名	距離	着順	タイム	騎手
1985. 8. 11	函館	3歳新馬	芝1000	1	59.0	東 信二
9. 8	函館	すずらん賞	芝1000	1	1:00.0	東 信二
9. 22	函館	函館3歳S(GIII)	芝1200	1	1:10.3	東 信二
1986. 3. 22	中山	すみれ賞	芝1200	8	1:14.0	東 信二
4. 27	東京	サンケイスポーツ賞4歳牝馬特別(GII)	芝1800	2	1:51.0	柴崎 勇
5. 18	東京	優駿牝馬(GI)	芝2400	3	2:30.3	柴崎 勇
10. 12	京都	関西テレビ放送賞ローズS(GII)	芝2000	—	出走取消	岩元市三
1987. 4. 26	東京	京王杯スプリングC(GII)	芝1400	2	1:22.1	東 信二
5. 17	東京	安田記念(GI)	芝1600	5	1:36.3	東 信二
6. 7	阪神	阪急杯(GIII)	芝1400	14	1:23.7	岩元市三
9. 13	中山	京王杯オータムH(GIII)	芝1600	1	R1:32.2	岡部幸雄
10. 11	東京	毎日王冠(GII)	芝1800	1	1:46.1	岡部幸雄
11. 1	東京	天皇賞(秋)(GI)	芝2000	8	2:01.2	岡部幸雄
11. 29	東京	ジャパンカップ(GI)	芝2400	3	2:25.1	岡部幸雄
12. 27	中山	有馬記念(GI)	芝2500	7	2:34.3	岡部幸雄
1988. 3. 20	東京	スプリンターズS(GII)	芝1400	1	1:21.9	的場 均
4. 24	東京	京王杯スプリングC(GII)	芝1400	1	1:21.4	岡部幸雄
5. 15	東京	安田記念(GI)	芝1600	2	1:34.4	河内 洋
10. 9	東京	毎日王冠(GII)	芝1800	5	1:50.1	岡部幸雄
10. 30	東京	天皇賞(秋)(GI)	芝2000	4	1:59.6	岡部幸雄

※レース名は当時の表記による

1988年★第38回安田記念(GI) 軽快に逃げ脚を伸ばすライバル・ニッポータイオー(帽色・青)を捉えきれず、ダイナアクトレス(帽色・橙)は1馬身差の2着。

